

市政刷新

5月から2期目の任期に入りました。
4年間、日々の暮らしに密着した
政策提言に責任をもって
取り組みたいと思っています。

福岡市議会議員 調たかし

正論を市政に!
福岡市議会議員(城南区)

調たかし

【発行者】

福岡市議会議員 調崇史(自由民主党 福岡市議団)

議会活動! 9月議会で一般質問に登壇!

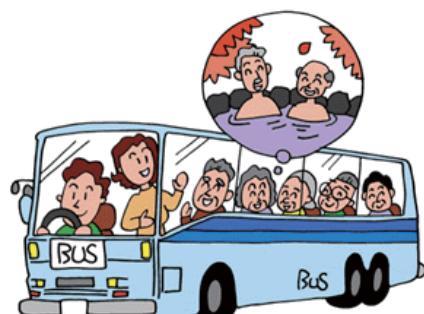
■「福祉バス事業」の助成増額に前向き答弁

福祉バス事業は、高齢者・障がい者などの社会参画・移動支援などを目的に、貸切バスの賃料を市が助成するものです。身近なものでは老人クラブへの助成と公民館が主催する高齢者教室への助成の2つがありますが、貸切バスの価格競争に起因する重大事故を防止する観点から国交省がバス事業者に全国一律に値上げ指導を行ったことを受けて、福岡市でもこの4月から老人クラブや公民館が主催するバスハイクに影響が出ていました。



当局によると、バスハイクに用いる貸切バス1台の値上がりは日帰りの標準的な利用で25,900円。40人での利用を想定すると、1人あたりの負担増は約650円となります。市民からどのような要望が寄せられているかを尋ねたところ、当局は、老人クラブや公民館から利用者の負担軽減に向けた助成金の増額を望む声が寄せられていると答弁しました。

質問では、貸切バスの賃料が高くなり、福祉バスの助成制度が利用できなくなったため、旅館や大型の飲食店など送迎バスを持っている施設からマイクロバスを出してもら



い、バスハイクを行っているケースもあると、地元の事例を紹介。老人クラブや公民館などから寄せられている助成増額の要望に速やかに応じるよう強く求めました。当局は「平成28年度からの保健福祉総合計画の策定の中で総合的に検討する」と前向きに応じ、来年度からの実現に含みを持たせました。

高齢者のバスハイクは、単に外出のきっかけだけではなく地域社会との交流や健康づくりにもつながることから、市が福祉バス事業で奨励してきました。市がこうした役割を今後も果たすためには、実態に見合わなくなつた助成額を引き上げるしかありません。早期に結論が出るよう、引き続き努力します。



なお、9月議会の一般質問では、この他にも「バス停へのベンチの設置について」「予防接種の副反応について」について質問しました。



■ 金山駅前へのベンチ設置に取り組んでいます

委員会活動! 今期も「子育て」「教育」「福祉」を中心に 第2委員会・副委員長を拝命しました!

■ 政策提言に力を入れます

2期目の任期のはじめに常任委員会の所属が決まり、今期も引き続き第2委員会に所属、最初の1年間は副委員長を務めることになりました。福岡市議会の常任委員会は第1から第5までの5委員会があり、それぞれ所管する局の予算や施策について審議をし政策提言を行っています。

第2委員会の所管は「こども未来局」「教育委員会」「保健福祉局」です。国の省庁に当てはめれば、厚生労働省と文部科学省でしょうか。多様化しつつ増加する保育ニーズへの対応。子どもの教育や医療など、健やかに育むための環境整備。そして市の支出で最も大きなウェイトを占め、年々増え続ける社会保障費の維持や他の施策との折り合いなど、第2委員会は市民の関心が高く日々の暮らしに密接なテーマを議論します。

2期目の4年間は実りある政策提言と予算化に前期にも増して力を入れたいと思います。是非とも皆さまの様々なご意見、ご要望をお寄せ下さい。

調たかし 現在の主な役職

■ 第2委員会(副委員長)

■ 大都市税財政制度確立推進

協議会(副会長)

■ 交通問題調査特別委員会(委員)

■ 福岡市食育推進会議(委員)

■ 城南区保健所運営協議会(委員)

お知らせ

自由民主党福岡市議団に所属しました

■ 無所属での挑戦を経て

今年4月12日に投開票された福岡市議会議員選挙に無所属で立候補し、4,635票の負託を得て2回目の当選を果たしました。

当選が決まった直後より、さまざまな会派から『一緒に頑張ろう』とお誘いを頂いたことから、後援会の緊急幹事会を開いて協

議して頂いた結果、満場一致の結論で自由民主党福岡市議団への所属が決まりました。

信条である保守の旗と、選挙戦を通じて掲げた正論の旗をしっかりと振りつつ、最大会派の一員として議会と当局が緊張感を持って政策決定を進めていけるように努めていきたいと思っています。



■ 後援会 緊急幹事会の様子



福博うつくし 少子化対策って!?

この夏も、九州大学と福岡大学から3人のインターン生(第9期)を受け入れました。彼らが手掛けた政策研究のテーマは、「少子化対策」。福岡市は20代から30代で比較したときに女性の方が男性よりも約2万人多く、未婚者へのアンケートで結婚しない最大の理由が「適当な相手にめぐり合わないから」であることから、市役所がいわゆる「婚活イベント」の情報を積極的に発信したり、男性が地元の企業に就職できるような仕組みを考えるべきだという政策提言をまとめてくれました。

1組の夫婦が生涯に育てる子どもの数は、実は1972年頃からほぼ横ばい(約2人)です。少子化対策を論じるとき、どうしても子どもの医療・保育・教育などへの支援策が先に立ちますが、実は若いカップルに「結婚祝い金」を支給する方が直接的な効果があらわれるのかも!?などと考えさせられました。

調 崇史 プロフィール

1978年 4月17日生 37歳

- 1978年 福岡市生まれ
- 1991年 七隈小学校卒業
- 1994年 梅林中学校卒業
- 1997年 修猷館高校卒業
- 2002年 九州大学法学部卒業
T N C テレビ西日本入社
- 2010年 同社退社
- 2011年 福岡市議選初当選
- 2015年 2期目の当選
現在、金山団地在住 妻と3女



www.t-shirabe.net/

調たかし 市政相談所

ぜひ、お立ち寄りください

〒814-0131

福岡市城南区松山2-5-5

志のぶビル201号

※市営地下鉄 金山駅から徒歩3分

七隈本町バス停から徒歩1分

TEL:092-834-9984

FAX:092-834-9983

mail:info@t-shirabe.net

調たかし

検索